

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和6年11月6日

計画の名称	産業を支えるやまぐちのみちづくり										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）						交付対象	山口県・山口市									
計画の目標	・産業力・観光力の強化を支援するため、各拠点からインターチェンジ、駅、港湾等へのアクセス道路を整備することにより、物流等の迅速化・円滑化や観光客の利便性の向上を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）																	
・各拠点からインターチェンジ、駅、港湾等へのアクセス道路を重点的に整備することにより、移動時間を2分短縮する。																	
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値					備考				
・各拠点からインターチェンジ、駅、港湾等へのアクセス短縮時間を算出する。 短縮時間（分）＝Σ（現況の走行時間（分））－Σ（整備後の走行時間（分））								当初現況値 （H30当初）	中間目標値 （R2末）	最終目標値 （R4末）	備考						
								0分	2分	2分							
事後評価																	
実施体制、実施時期 事後評価																	
実施体制								実施時期									
土木建築部評価システム検討委員会にて、事後評価を実施								事業完了後									
								公表の方法									
								山口県ホームページに掲載									
全体事業費	合計 （A+B+C+D）	6,735 百万円	A	6,735 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A01-001	道路	一般	山口県	直接	山口県	（主）岩国玖珂線・欽明路～柳井田上	バイパス 3.2km	岩国市	H30	H31	R2	R3	R4	189			
A01-002	道路	一般	山口県	直接	山口県	（一）中ノ関港線・植松～大崎工区	バイパス 1.3km	防府市						53			
A01-003	道路	一般	山口県	直接	山口県	（主）美祢油谷線・砂利ヶ峠工区	バイパス 2.0km	長門市						2,740			
A01-004	道路	一般	山口市	直接	山口市	（1）中領長谷線	バイパス L=340m	山口市						1,128			
A01-005	道路	一般	山口市	直接	山口市	（他）湯田パーキング線	スマートICアクセス道路 0.2km	山口市						380			
A01-006	道路	一般	山口県	直接	山口県	（国）490号・宇部工区	現道拡幅 6.0km	宇部市						2,245			
									合計					6,735			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
									合計								
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考		
									H30	H31	R2	R3	R4				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	R2	R3	R4		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・（他）湯田パーキング線等の道路を整備することにより、物流等の迅速化・円滑化や観光客の利便性の向上を図った。			
II 定量的指標の達成状況	定量的指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値 に差が出た要因
	指標①（各拠点からインターチェンジ、駅、港湾等へのアクセス短縮時間）	2 分	2 分	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				

3. 特記事項(今後の方針等)

引き続き、各拠点からインターチェンジへのアクセス道路を整備することにより、物流等の迅速化・円滑化を図る。
--

